

医療法人稲生会（所在地：北海道札幌市）

事業名

手稲まちごと公民館構想プロジェクト

事業の趣旨・目的

・令和5年度に実施したプロジェクトでは、剣淵町から学び、「当たり前に障害者を含む住民が地域づくりの主体となる地域のあり方を目指すことを確認した。本事業は、実施主体による一方向的な地域づくりではなく、様々な主体の協働が重なった地域像を目指す。本事業では、「みらいつくり大学」の取組を継続するとともに、「これまでの枠組の外に位置づく活動の企画・参画を推進し、稲生会が一参加者となるローカルな地域の未来を語り合う場を企画する。

事業実施体制・連携先

・札幌市手稲区前田曙地区の地域づくりネットワークに関わるさまざまな主体を招いて連携協議会を実施する。コーディネーターは専任常勤1名。

主な対象

すべて、肢体、その他

活動分野

学習、文化芸術、情報保障、普及啓発、その他（地域づくり）

事業の取組内容

①みらいつくり大学による講座の実施

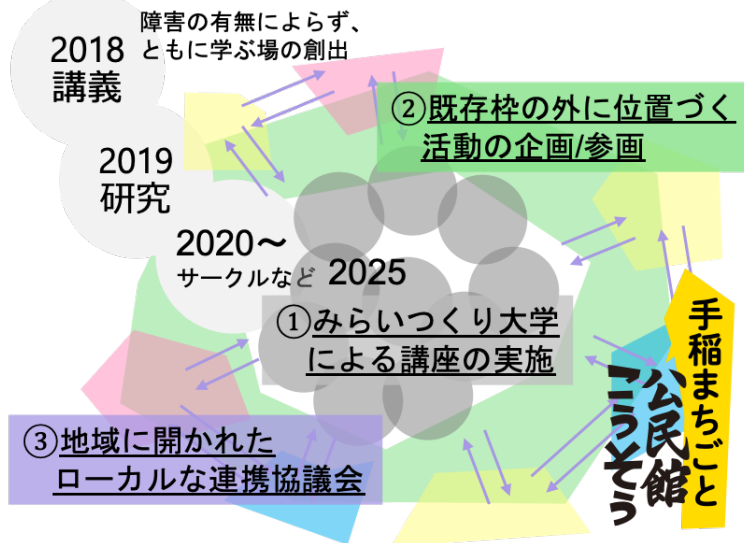
哲学学校、読書会、映画同好会、ハワイアン、アイヌ語、手話、オタクの語り場、など、障害の有無によらず学習者の興味関心からスタートした活動を継続して実施した。年間講座全4回程度実施した。新企画として、「ハピごち」・「喫茶じりつ」を開催した。

②「障害の有無によらずともに学ぶ場」という枠の外に位置づく活動の企画・参画

「障害の有無によらずともに学ぶ場の創出」を複合的な地域課題の一部として捉え、この枠組の内外がなだらかにつながりながら障害者を含む地域住民が様々な地域課題を解決していくプロセスを促す、住民相互の学習の場づくりを目指し、「医療法人稲生会」「みらいつくり大学」といった活動枠組が地域と接する境界帯に位置づくような取組について意図的に企画した。令和5年度には、バスツアー、キャンパスツアー等を実施した。

③地域に開かれたローカルな連携協議会の実施

これまでも継続してきた連携協議会での議論が地域となだらかにつながることが意図して「手稲まちごと巻き寿司の会」を開催した。また視察をきっかけに「手稲まちごと巻き寿司文庫」の実践を開始し、上記①②の取組が手稲前田曙地域となだらかにつながることが目指して取組を継続した。



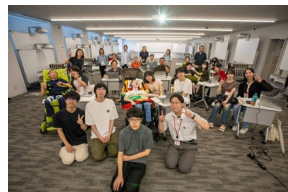
活動の様子



映画同好会



バスツアー2025



キャンパスツアー2025

その他

・みらいつくり大学校の取組については、みらいつくり研究所ホームページにて随時公開中。→みらいつくり研究所 <https://www.miraitsumakuri-research.com/>

・各活動について、アーカイブの動画を整備し、無料会員登録を経て動画にアクセスできる環境の整備を行なっている。